

連絡先 物流・自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL03-5253-8111 内線 42361
 アドレス : <https://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日 : 令和 8 年 6 月 5 日

リコール届出番号	5827	リコール開始日	令和 8 年 6 月 5 日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 今吉 琢也 (問い合わせ先 : 品質保証本部 03-6849-9790)		
不適合の部位 (部品名)	原動機 (燃料インジェクタ、ECU (エンジンコントロールユニット))		
基準不適合状態にあると認める構造・装置又は性能の状況及びその原因	<p>ショベル・ローダ等において、設計検討が不十分なため、</p> <p>①経時劣化により燃料インジェクタの噴射ノズルが摩耗し、燃料噴射量が増加する</p> <p>②可変ターボ内部にダスト等が付着することで空気供給効率が低下する</p> <p>③MAF センサ※のセンシング部にエアクリーナで捕捉しきれなかったダストが付着し、実際よりも多い空気流量として誤認識することがある。そのため、そのまま使用を続けると、これらの不具合が複合的に作用して空燃比が低下し、煤の発生が増加して、PM (粒子状物質) の排出量が保安基準を超過するおそれがある。</p> <p>※MAF センサ : エンジンが吸入する空気流量を計測する装置</p>		
改善措置の内容	<p>全車両、以下の対策を行う。</p> <p>①燃料インジェクタを対策品に交換する。</p> <p>②コントローラのプログラムを対策プログラムに書き換える。</p> <p>③取扱説明書に MAF センサ自動補正の運転方法を追加する。</p> <p>④エアクリーナエレメントカバーに MAF センサ自動補正の実施を促す銘板を貼り付ける。</p>		
不具合件数	0 件	事故の有無	無し
発見の動機	社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<p>・使用者 : 直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。</p> <p>・自動車特定整備事業者等 : 使用者を把握しており、周知のための措置はとらない。</p> <p>・弊社ホームページに掲載する。</p>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	YDN-WA139	WA80-8	WA139-20001~WA139-23265 平成 31 年 2 月 6 日~令和 8 年 4 月 8 日	1949 台	
コマツ	YDN-M286	FH35 FH40 FH45 FH50	M286-140001~M286-143915 平成 26 年 12 月 26 日~令和 8 年 4 月 8 日	384 台	
コマツ	YDN-M288	FH60 FH70 FH80	M288-51002~M288-51861 平成 29 年 4 月 26 日~令和 8 年 4 月 15 日	87 台	
	(計 3 型式)	(計 8 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 26 年 12 月 26 日~令和 8 年 4 月 15 日	(計 2420 台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。